# 国府支援学校の「働きやすい職場環境」マネジメント事業について

文責　国府支援学校長　田中清章

令和 8 年 3 月 30 日

**【現在の教育を取り巻く環境状況】**

現在、多くの小学校、中学校、高等学校、特別支援学校で教員不足が深刻な状況となっています。担任の不在や代替教員が見つからず、欠員が出たクラスの指導を周囲の教員や管理職がカバーし、長時間労働となっています。こうした負担増からストレスを抱え、うつ病や適応障害による休職が増加しており、負の連鎖が続く深刻な状況となっています。

**【国府支援学校の具体的取り組みと成果】**

国府支援学校は、こうした状況を脱するために人材確保の手立てとして、「国府支援学校サポーターズクラブ」の設置や、「就職ガイダンス」の開催などに取り組んできました。この成果として、令和７年度は６名の常勤講師の方が年度途中から勤務いただき、令和８年度は新たに１０名の方が常勤講師として勤務いただくことになり、全クラスに担任を配置することができました。

**【今後の課題とその対応について】**

しかし、国府支援学校で初めて勤務する常勤講師の方については、障がいのある児童生徒への教育（接し方、授業の組み立て、注目獲得行動への対応等）について不安や戸惑いが大きいことから、具体的に「学ぶ機会」と、その「時間確保」が困難を極めており、喫緊の課題となっています。

そこで、教頭や学部長、学年主任等が、初めて国府支援学校で働く職員に、悩みや不安を聞き取り、授業場面で直接、指導助言をする時間を確保することで、『相談しやすい雰囲気作り』と、『働きやすい職場環境』をマネジメントする仕組みを構築していきたいと考えています。

こうしたマネジメントの取り組みを具体化するために週に７～１１時間程度のマネジメント時間を創出します。

教　頭：授業時数９時間（うち３～４時間をマネジメントに充当）
学部長：授業時数１２～１３時間（うち３～５時間をマネジメントに充当）
＊教頭、学部長は、計画的に全クラスを訪問し、指導助言を行い、状況によっては組織的対応の指示を行う。

学年主任：授業時数１９時間（うち１時間程度をマネジメントに充当）
＊学年主任はマネジメントの時間を活用して、学年団の全クラスを訪問し、児童生徒の状況を管理職に報告する。

初めての試みになりますが、教職員の確保と専門性向上、働きがいや助け合いのある職場環境に向けた重要な事業です。教職員課と協議を進めながら改善を進めていきますので、ご協力のほど、どうぞよろしくお願いいたします。